

市民の声

過疎化地域西小学校の存続について

今津町 Y.Uさん

西地区は今や高齢化が進むにつれまったく子どもの居ない地域であります。

現在西小学校で学んでいる児童は全員で9名であります。その内6年生が5名おりますが、この5名の6年生が卒業すれば平成19年度は1名の新入生を含めても全児童5名としかありません。これは予測ではありますが、平成20年以降は学級数も児童数もさらに減り、教頭以下臨時養護教諭も臨時事務も引き揚げと

なります。今の状態が続けば存続どころか統廃合ということにもなりかねません。

学校としても教育委員会に協力を求めインターネットや電話などで山里通学を呼びかけ、東小学校保護者の方にも山里通学のご案内を出しているところでもありますが、現実には厳しい状況の中にあると思われま

す。西地区にとっては随一の小学校であり、存続できるように行政も努力していただきたいと思

永原止めを近江塩津延伸化

城山台 上山惟裕さん

JRの琵琶湖環状線化後も、湖西線のダイヤ不備が指摘され、せっかく巨額を負担してもダイヤが敦賀行きに重点を置いた編成で、環状線の意義が希薄である。

高島市民にとっては、敦賀方面よりも湖東方面との往来や、米原駅での新幹線

利用の利便性向上が望まれる。

そのためには、現行の永原止めを全て近江塩津まで延伸化することである。JRは待避線の関係で難色を示すかもしれないが、近江塩津で即折り返し、現状通り永原駅で待避すれば可能となる。

この視点からJRへの働きかけも重要である。

議会広報特別委員会

新しく私たち8名が担当します。
市民の皆様が議会に関心を持っていただける広報誌を目指します。
(委員一同)

- 委員長 …… 井花 定樹
- 副委員長 …… 福井 節子
- 委員 …… 大森 六己・森江 稔
- 保木 利一・宮川 佳衛
- 小川 庄三・八田 吉喜

編集後記

合併2年が過ぎ、19年度予算も決定し新年度がスタートしました。

各委員会も改選が行なわれ新メンバーでスタートし、市民の期待に応えることを第一に活発な活動を目指していただきたいものです。市長の政策方針にありました様に、旧町の継続事業には終止符を打ち、オール高島としての事業推進を強く意識した議会を各議員考えていきたいものです。広報委員会としましては、今以上に、審議内容を市民の皆様にかかり易く報じていくことを委員一同目指してまいります。

(井花)